

小田原市総合計画審議会(第2回)参考資料

# 総合計画行政案に対する市民意見募集 (パブリックコメント) 暫定一覧表

- 意見募集期間は8月13日から9月13日(本日)までです。
- 一覧表は、9月10日現在で寄せられた意見を暫定的にまとめているものです。
- 表における「該当箇所」欄は、変更する可能性があります。

総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容	
1	1	質問	-	全体	-	-	総合計画の策定は義務ではなくなりましたが、小田原市であえて策定する理由を教えてください。	
2	1	意見・提案	-	全体	-	-	現在の実施計画では、選挙により総合計画の方向性と逆方向の首長が当選したとしても、前の首長の方向性で作られた総合計画に縛られてしまう恐れがあり、それは選挙の結果という直近の民意の反映を阻害することになるため、総合計画の目標年次については総合計画の策定は義務ではなくなったことも考え、首長選挙のある年を最終年とする4年サイクルで回すべき。	
3	1	質問	-	全体	-	-	小田原市意見公募手続条例では、市政全般における基本的政策を定める計画及び個別行政分野における基本的な事項を定める計画については、意見公募手続を行うこととなっていますが、令和2年度末に制定され、第6次総合計画に引き継がれる2030ロードマップについては意見公募手続がされていません。2030ロードマップの策定に際し意見公募手続を行わなかった理由を教えてください。	
4	1	質問	-	全体	-	-	小田原市意見公募手続条例では、市政全般における基本的政策を定める計画及び個別行政分野における基本的な事項を定める計画については、意見公募手続を行うこととなっていますが、令和2年3月に制定された第2期小田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略については意見公募手続がされていません。第2期小田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に際し意見公募手続を行わなかった理由を教えてください。	
5	1	意見・提案	-	全体	-	-	平成11年(1999年)、2015年、平成28年など、和暦と西暦が入り混じっている。グラフ等含めて計画内の表示を統一したほうがよいのでは。	
6	1	意見・提案	-	全体	-	-	箇所、か所の表記ゆれがあります。	
7	6	意見・提案	-	全体	-	-	市が提供する各サービス/施策について、想定されるターゲットクラスターに対して、利用者や浸透度(ターゲットの、何%が知っているか)、と言う観点から見える化する事で、効率性が見えて来るので、新しいサービスや施策を評価する事も検討して頂きたいです。	
8	6	意見・提案	-	全体	-	-	せっかく大規模な市民アンケートを取っているのだから、市の計画にあたってはサービスや施策を使用する側の要望をしっかりと受け止めて、課題を解決して頂きたいです。合わせて、中長期的な目線で、有識者やサービス提供側の考える良い施策を織り交ぜて、頂きたいです。	
9	8	意見・提案	-	全体	-	-	人口動態、消滅可能性都市の議論を踏まえたコンパクトシティ的な観点の必要性についても検討し、それを広域連携地域内において導入する場合、必須である行政(生活)機能ごとの拠点の位置と数、機能ごとの効率性(集中)と安全保障(分散または複線化)の均衡点分析について、地理条件、人口条件、物理的及び時間距離とその前提となる移動手段と方法、通信インフラの有無など専門家による公開討議を希望したい。	
10	26	意見・提案	-	全体	-	-	基本的な姿勢として、コンパクトシティを目指す方向性と、自治体をプラットフォームビルダーにしていく方向性が見られます。前者について。青森市が、アウガという再開発ビルをオープンしましたが、初年度から赤字で、巨額の資金が税金から投じられましたが、経営破綻して失敗に終わっています。また、中心市街地に人を集めることにより、農家の減少、食料自給率の低下、騒音問題、渋滞問題、近隣トラブルの増加などが懸念されます。後者について。これは公共サービスの提供を、共(地域の団体)、私(民間企業)に任せ、自治体はその管理者になるという考えです。総務省の自治体戦略2040構想研究会では、「社会保障は、基本は一人一人自助でやっていけるようなプラットフォームが確保されることで、公助はできるだけ頼らないで済む」と主張されています。現在、コロナ禍で、公共的なものを減らしていくことが、命を削ることにつながることを明らかにしてきました。保健所の削減、病院・病床の削減政策が、守れるべき命を奪っています。自治体は、今までのようにサービス・プロバイダーであり続けさせる必要があります。従って、この2つの方向性に対して反対です。	
11	27	意見・提案	-	全体	-	-	政策の成果は一朝一夕には出てこないのだから、とにかくスピード感を持って対応をお願いしたい。	
12	5	意見・提案	3	序論	2 計画の構成と計画期間	-	策定基本計画に9年、実行に3年3期のうち、9年は長い気がする。計画を立てながら、優先順位を見極め、基本計画をブラッシュアップするところと、医療、街づくり、安全について喫緊の課題を早急に計画するように分けた方が良いのでは？とにかくワクチンを急ぎましょう！ミナカ、ハルネ等、駅近で接種できる様なインフルエンザの様に打てる体制づくりを	
13	1	質問	4	序論	3 ウィズコロナ、ポストコロナ社会に向けた視座	新型コロナウイルスによって顕在化した課題	-	集中化という都市の歴史は、人間という生物の許容範囲を超えてしまったとはどういう意味ですか？
14	1	質問	4	序論	3 ウィズコロナ、ポストコロナ社会に向けた視座	新型コロナウイルスによって顕在化した課題	-	教育、病院、住居などのインフラの住居とは、社会的インフラとしての公的な住宅の事を言っているのですか？
15	1	質問	4	序論	3 ウィズコロナ、ポストコロナ社会に向けた視座	ポストコロナ社会における小田原の可能性	-	ストリートの定義を教えてください。
16	23	意見・提案	5	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(1)新型コロナウイルス感染症の影響	-	色々な所に”スピーディー”という言葉が出てくるが、今回のワクチン接種に関しても、集団接種を始めるのが他市に比べて非常に遅く(鎌倉市より1か月も後)、何故か医師会の接種が優先されていたおかげで6月24日に県から発表された接種率は、鎌倉市31.16%・小田原市2.80%と1桁も違うものだった。発表された2日後に市立病院での集団接種を始めた。市民は見ています。どんなに言葉でスピーディーと言っても、市長は市民の命より、医師会の利益を優先したんだなど。言葉ではなく行動で示さないと不信感が冗長されます。
17	23	意見・提案	6	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(3)SDGsの取組	-	P.6にも書いてあるように小田原市の素晴らしいところは、他市に先駆けて、未来を見据え、色々な場面で真にSDGsの取り組みを行ってきたことにある。



総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

210913\_小田原市

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容	
18	6	意見・提案	10	序論	5 市民アンケート調査結果	-	-	計画の行政案の中で、市民アンケートを実施して、その結果をまとめていらっしゃいます。今回の計画案はその内容を捉えて、実践しようとしていますでしょうか。
19	6	意見・提案	10	序論	5 市民アンケート調査結果	-	-	アンケートについて、医療に対する「何が充実すれば小田原市の医療に安心できるか」のアンケート結果も、トップ7はどれもクリティカルに重要な項目のように見受けられます。また、新病院の建設だけでは解決できない課題が多いのではないのでしょうか。サービス提供側の意見だけではなく、利用者の視点から、医療充実のために、ハコモノの建設に終わらず、ソフト面の強化もぜひ議論する事を検討して頂きたいです。
20	1	質問	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	市民力や地域力とはどのようなものですか？
21	23	意見・提案	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	「世界が憧れるまち”小田原”」について、ぜひ多くの市民にこの言葉を聞くたびに、どのように感じるかを聞いてほしい。市長は選挙の時、ひとり10万円と書いた上に前市長が1か月前に出した政策を自分の政策のように公報に書きました。本当に政治家として恥ずかしい行為です。ですからこの言葉を聞くたびに市民は失笑してしまうのです。もうこのフレーズはやめませんか。
22	6	意見・提案	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(1)行政経営	-	アンケートの「市民と行政がともにまちづくりを進めるうえで何が必要か」の結果に対して、市の情報の公開、提供とありますが、その対応はされておりますでしょうか。「市のホームページを見れば載っている」と考えてはおりませんか。ただ情報公開するだけでは不十分と捉え、情報を浸透させるための解決策を探って頂きたいです。市が頑張っ準備されたサービスや支援はあるのに、それを必要としている方々に行き届いていない事も多々あるように思われます。
23	27	意見・提案	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(1)行政経営	-	役所内も縦割りの組織となっており、その中で真面目に仕事をすればするほど、よりその組織に染まっていき、自分のことしか見えないという悪循環に陥っているように見受けられる。しかしながら、多くの課題は組織横断的に解決する必要があり、柔軟な対応が求められることがほとんどである。特に、空き家を含む既存ストックの活用、移住定住による人口増等の施策については、総合政策的な課題が多い。これらの課題について横断的に意見交換等出来る場を積極的に設けていただきたい。
24	27	意見・提案	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(2)公民連携・若者女性活躍	-	公民連携という言葉がやっと役所側から出てくるようになったが、一時、官民の癒着による不正が横行した以降、官と民との距離は遠くなっており、今の行政内には、そのネットワークもなく、どうやって官側から民へアプローチしたらよいか？わからないケースが多々あると思われる。まずは、各課題に対して官と民との対話の場を積極的に設ける必要があると考える。
25	27	意見・提案	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(2)公民連携・若者女性活躍	-	総合計画を活きたものにするために、官と民が常に気軽に対話できる体制づくりを望む。
26	26	意見・提案	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(3)デジタルまちづくり	-	デジタル化の推進について、これは時代の流れからも進める必要はありますが、大事なのは住民の合意と個人情報の保護です。そのため、大胆に進めるのではなく、まずは市役所の業務に関する事で、できることから始めるべきだと思います。市の行う説明会への参加が電話予約のみというのがありました。メールで申し込むことも可とする、そんなことから始めるべきです。そして、スーパーシティの再提案には、応じないようにすべきです。「岩盤規制の大胆な緩和」をもとめられているので、住民の合意を得たうえで提出し直す時間もありませんから。
27	1	質問	20	実行計画	重点施策	1 医療・福祉	(1)安心の地域医療体制	現時点の二次救急医療の圏域内自己完結率を教えてください。
28	1	質問	20	実行計画	重点施策	1 医療・福祉	(2)地域共生社会の実現	現時点の包括支援センターの圏域ごとの地域福祉相談支援員の配置率を教えてください。
29	1	質問	20	実行計画	重点施策	1 医療・福祉	(3)健康寿命の延伸	現時点の小田原市の男性と女性の健康寿命を教えてください。
30	1	質問	21	実行計画	重点施策	2 防災・減災	(1)地域国土強靱化の推進	災害時に適切な情報が多様な手段により全ての人に届いていることの確認はどのように行うのですか？
31	1	質問	21	実行計画	重点施策	2 防災・減災	(2)地域防災力の強化	逃げ遅れゼロの実現の確認はどのように行うのですか？
32	8	意見・提案	21	実行計画	重点施策	2 防災・減災	(2)地域防災力の強化	近年話題となる富士山噴火による災害対策においても各市町村や公、民の道路管理事務所のみならずJR東日本、JR東海 小田急、西武を交えた人員、物資の移動状況の確認や災害時の代替策など話し合いの機会を常に持つべきと思う。
33	27	意見・提案	21	実行計画	重点施策	2 防災・減災	(2)地域防災力の強化	防災については、昨今の自然災害の増加を踏まえ、災害対応に携わる関係者が改めて現状に対する共通認識を持ち、日常から顔が見える中で備えていく必要があると考える。また、防災に関しても市内部の組織内あるいは市と県、国との関係部局の連携等非常に問題が多く、実際に現場の最前線で災害対応にあたる市内業者にそのしわ寄せがくることが多い。
34	21	意見・提案	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育	予測不能な時代(VUCA)において、自分で考え抜く力・やりきる力が日々重要となると考えます。二宮尊徳翁のような人財を創出するためには、偉人の考え方を踏襲しながら新たな視点で考える教育も推進頂きたい。
35	26	意見・提案	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育	「新しい学校づくりの推進」とあり、厚生文教常任委員会に出された資料によると「本市における学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方を整理し」とあります。また、小田原市学校施設中長期整備計画には、「学校施設の将来的な再編も含め、学校施設の最適化を検討していきます」とあります。つまり、統廃合を視野に入れるということです。学級の人数が欧米と比べても、かなり多いのが現状で、教職員の長時間労働は改善されていません。そんな中で、統廃合という選択肢ありきで進めてはいけないと思います。
36	1	質問	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(2)子ども・子育て支援	現時点の保護者の子育て環境や支援への満足度はどれくらいですか？

総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

210913\_小田原市

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
37	21	意見・提案	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(2)子ども・子育て支援 小田原市内に産婦人科が少ないため、安心して産むことができる環境の構築を検討頂きたい。また、子どもを望みながらも妊娠できない夫婦への不妊治療支援を国に先立ち導入するなど、あわせて検討頂きたい。
38	21	意見・提案	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(3)幼児教育・保育の質の向上 職場内保育の整備支援を独自に行うなどの検討を頂きたい。
39	1	質問	23	実行計画	重点施策	4 地域経済	(1)企業誘致の推進 働く場所の定義を教えてください。
40	1	質問	23	実行計画	重点施策	4 地域経済	(3)地域資源を生かしたビジネス展開 新規創業数はどのように調べるのですか？また、法人の設立に限られるのですか？
41	4	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 「・木造化等の天守の整備を含めた将来の小田原城天守や大手門のあり方に関する調査研究を進めます。」の記述は大変心強く思います。歴史を語るのに衣食住のを知ることは世界共通の興味・関心事です。その中で日本の木造建築は世界に誇れるものです。その木造建築を語るのに調査研究を抜きにはあり得ないことです。木造建築の最も大事な要素は構造であり、構造即意匠なのであって意匠が分かればそれでよいというような考えであってはなりません。今後、速に調査研究を進め、近い将来に天守や大手門が木造で復元することを期待しています。建築以外の調査として、その時代の背景、森林の状況、木材の供給、職人、それらを統括する人たちなど複合的な調査研究も視野に入れて欲しいと願います。伝統は未来を繋ぐ財産です。小田原市の輝かしい未来の姿を想像して嬉しく思います。
42	7	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 「第6次小田原市総合計画 行政案」を拝読させていただきました。この中で歴史資産整備の一環として、小田原城址整備の具体的な検討課題として、この度「天守閣の木造化等」が挙げられていましたことに期待を感じております。 観光地としてのエリアを考えた場合に、広範囲の熱海・湯河原・箱根地域の要として小田原の存在がありますが、常々その観光地資源の弱さを感じておりました。 外国人を小田原城へご案内したおり、コンクリート造りであることが判り、彼らが大変落胆して「遠くから眺めていた方が良かった」と申していたことに、こちらもそれ以上の落胆と、恥ずかしさを感じた次第でした。 戦禍の荒廃した街の瓦礫を集め、50年の歳月をかけて街の復興を成し遂げたドイツ人からすれば、RCでの再現はあまりにも安易な選択と受け止めた気持ちが身に染みて理解できたからです。以降、外国人をご案内する場合に、小田原城へはお連れしないで、遠くから見せるようになってしまいました。 耐火基準や耐震の構造上の課題があつてのことだという事は理解していますが、木造でもそれをクリアーできるということを近年知り、だとすれば、近い将来に本物の天守閣を是非構築していただきたいと、たいへん期待をしております。 わざわざでも行きたくなる本物の場所。テーマパークやバーチャルが席卷する時代にあつて、これからは本物しか長く話題にならないだろうと、そう思うからです。 どうか、よろしくご検討をなさってくださいませ。
43	9	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 小田原城はもちろん木造にした方が良いと思いますよ！今のままでは、あと50年持てば良い方でしょうね。木造にすれば何百年と持つのです。維持管理も修理するまで殆どかからないから、良いですよ！今のままだととにかくお金がかかります。鉄筋コンクリートでは、長い間持たないしとにかくメンテナンスにお金がかかるんです。 小田原城を木造にして！城下町を再建して下さい。古き良き日本の伝統は、世界に誇る日本の文化です。もう一度取り戻しましょう。繋がりの大切にしなごう！
44	10	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 近年大型木造化の流れが強くなり、国策においても公共建設の木造化が推進されてきています。日本は、世界でも類を見ない木造技術が発展して、住宅・社寺建築をはじめ、多くの文化遺産を生み出してきています。城のデザインそのものが日本の国土に適していて特徴は、基壇が高い・風通しが良い軒が深い等気候風土からもその形が木造に最もふさわしいところからきています。 鉄筋コンクリート造では、あくまでも形を装った型枠にすぎません。文化財的にも価値はないです。是非、原状復旧を進めていただきたい切に思います。



総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
45	11	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 ここでは、天守木造に向けて準備検討組織を早期に立ち上げるべきと主張します。実現に向かっては、多くの課題を消化していくわけです。たとえば、 ・3模型と引図など資料の徹底解析を行い、現代の安全基準を満たす構造設計 ・木材の調達とその加工体制 ・伝統木工法を体得している技術者の確保と育成 のような直接建設に関する課題以外にも ・現在天守内にある展示物を移設するための歴史博物館の建設 ・数年に亘る工期における天守不在をカバーする施策 ・建設予算とその調達段取り など多くの様々な課題が並行的に走っていかねばならないわけで、全体構想を緻密に描き、進捗管理する組織が必要です。まずは、準備検討組織を市の内部に正式に立ち上げて、然るべき識者、市民を招集して、各課題を分科会に担当させていく体制を敷くべきです。
46	12	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 この度の「小田原市第6次総合計画行政案」を拝見しましたところ、施策のなかに「木造化等の天守整備を含めた将来の小田原城天守や大手門のあり方に関する調査研究」の文言を見つけ、たいへん嬉しく思っております。小田原城は言うまでもなく当市にとって重要な歴史・文化・観光資源であると同時に、城下町としての街のアイデンティティを形成する象徴的な存在でもあります。現行の天守閣も戦後という混迷する時代状況のなかで、多くの市民が希望を託した復興天守としてその役割を十分に果たしてくれたとは思いますが、一方で外形を模しただけのコンクリート造りという条件は「模造」というイメージを避けることはできません。木造の天守閣として復元であることに違いはありませんが、ありし日の天守・大手門をより美しい姿で存在させようとする意思は、当市が掲げる計画が、禁止的な未来における一時の利益にのみ資するものでなく、遠い過去・未来を踏まえた大局的なヴィジョンに立ったものであることを如実に物語ります。この一点が、本計画のもっともオリジナリティに富む部分かと思ひます、どうかその”思想”をぶらすことなく、実現に向けて着実に歩みを進めていただきますようお願い申し上げます。
47	13	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 城下町小田原は江戸や大阪より以前に最大の城下町であったにかかわらず、現在は市民ですらその面影を実感できません。当然ながら国道などの通過客も、その実感はなく、R1や青橋から「あ、お城だ…、小さいな」と思うだけです。たとえ小田原北条が関東を支配していた事を知っていても、やはり印象は「小さいお城」と思うそうです。長年の工事により二の丸や銅門等が再現され、最近では天守閣こそ改装されたものの、その特徴である惣構の整備はあまりなされておられません。まずは、<国道1号と国道255号(早川口・板橋見附、箱根口、山王口・江戸見附)を優先に整備>し、「へえ～ここから、小田原城なんだ！」と実感できるような総構えを中心とした街づくりと平行して、新交通網の整備を主とした総合政策を行えば、観光(教育、経済活性)・生活(利便向上・渋滞緩和)・防災なども兼ね備えた街づくりができると考えます。いくら魅力ある観光地が点在していても、回遊性が不便なら単なる経由地のままです。また、鎌倉のように許容量を超えた人が押し寄せれば、大渋滞が発生し生活も不便になり観光客どころか住民流出にもつながります。
48	13	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 神奈川以外の都道府県(以下、県表記)では、城郭があった都市がそのまま県都(県庁所在地)として機能していたり、城下町の市区町村民でなくとも、同県民なら県内のお城に愛着があるのが当然です。例えば本市も支援をした熊本城は、地震で損壊した際に市民だけでなく、熊本県民が自分の街の事として捉え、大変に悲しい思いをされた事は私達にも伝わるところであります。しかしながら、もし小田原城が被災した際に、熊本県のように神奈川県内の他市民、例えば横浜の人がショックを受けるのでしょうか？おそらく答えはNOです。残念ながら、縁がある人や足柄圏内2市8町の住民、平塚や秦野あたりの近接都市の住民を除けば、「他県の出来事」のように感じる人がほとんどだと思います。もっと言えば、天守閣が残っていない場所(江戸、浜松、仙台など)のほうが、神奈川よりも地元の城下町に愛着があるのではないのでしょうか？ 現に私が学生時代の同級生に川崎市民がおりましたが、小田原を静岡県だと思ってました。この様な話しは枚挙に暇がありません。社会人となった今も、初めてお会いする横浜、相模原付近の方も、同県と認識はしているものの、似たような傾向があり、担当が西湘エリアになり初めて小田原に来た人もいました。一度だけ、機械修理を頼んだ際に、メーカーの担当者がお城マニアで、作業中もソワソワして「リニューアル待ってたんです。他の予定入れなくて！この後行くんです…」という人もいましたが、このようなケースはごく稀です。これはひとえに、<相州＝神奈川県を中心が小田原であった事を県民が実感できない>ためと考えます。 神奈川、それどころか関東の中心地であったことを実感でき、小田原を市民だけでなく県民が誇りに思う事ができるようにするためにはどうしたら良いか？最も効果的なのは、「小田原を神奈川県庁所在地にすること」ですが、もはや不可能であり不毛な努力に終わります。そこで実行可能な解決策は何か？それは『小田原城総構えの整備』と言えます。 これはARなどとは違い、製品・技術規格や端末所有の有無を問わず、恒久的に効果を発揮するもので、訪れた邦人外国人、老若男女が生身一つで体感できるものです。
49	15	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 有識者意見にある「小田原には歴史の深さがあるので、都市にとって一番の下絵になる歴史を現代とつなげてほしい。」の象徴として、小田原城の木造復原を具現化して戴きたい。 歴史の深さを視覚化するには、喪失建造物であればその時代の姿形のみならず、素材や工法も可能な限り本来通りに復原すべきであり、その上で最先端の復原技術を投入する事で、歴史と現代を繋げる高度な価値を創出出来ると考えます。 小田原城の木造復原は高度な価値の実現であり、その価値は歴史文化のみならず、新たな都市整備手段の見本としても、小田原を内外にアピールする礎になると確信します。

総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

210913\_小田原市

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
50	16	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 城下町や宿場町の町並みはその土地の自然と歴史との中で育まれて、創り上げたものであり、その土地の個性を示し、固有なものである。そして、その個性を保ち続けることで、人々の心のふるさととなる。どこの地域でも、「東京」となってしまうと、全く魅力のないものになるであろう。 小田原は、古い伝統・歴史を基にして、新しい城下町・宿場町のまちづくりが行われるべきである。 そして、その町に核となる建物が、歴史の文脈の中で復元されたら、もっとその町に求心力が増し、観光資源として存在が増し、町に経済的活力が生じ、生活は向上していくこととなる。 小田原の中心的な核は、小田原城であり、天守であると思う。現在は鉄筋コンクリート造で復興された天守であるが、内部空間はビル建物と変わらない。ここに、歴史を検証した文化財となりえる評価(復元)と伝統技術を駆使した職人による往時の伝統構法にて、町の核になる部分の復元が最もふさわしいと考えられる。 復興天守になった理由は、当時文化庁と市とのやり取りの末、最上階の展望バルコニーが勝ったようであるが、やはり歴史的な評価がきちんと必要であったことは、今になって証明されている。それは、もし、大地震にて現天守が崩壊したら、再建築するには、文化庁の許可が必要となり、今の復興天守をもう一度と言うわけにはいかないのである。一から復元に向けての調査・研究が必須であり、万が一のことを考慮して、今から再構築のための準備することが望まれる。 今すぐ結果を出すことが目的でない。上記のように時間をかけてやるべきことは、市がイニシアチブを取って進めることが最も望ましいことであり、将来のまちづくりのスタートとなる。
51	17	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 三の丸ホールの開業と合わせて、お堀からの正規途上ルートの整備や常設の「お休み処」として店の整備をしたり、かまぼこ通り・箱根口ガレージ報徳広場・文学館・はじめ周辺施設との連携を行い、観光客の流動化を図ってほしい。 そのシンボルとして、小田原城の木造化は歴史の再現ができ観光の目玉になっていくと思いますので、実現化を推進してほしい。
52	22	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 小田原城の木造化が検討されるのは嬉しいことです。関西には大きな木造建造物が数多くありますが、関東にはあまりありません。京都と奈良に3年ほど暮らしていましたが、大きな木の建物はなぜか「ホッと」気持ちを和ませてくれます。小田原を訪れるたびに目にする小田原城。今も見上げるたびにいいもんだと感じておりますが、これが木造になったのならば、遠方からも小田原城をみるためにやってくる方々も増えるのではと思っております。
53	25	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 「第6次小田原市総合計画 行政案」の中で『木造化等の天守の整備を含めた将来の小田原城天守や大手門のあり方に関する調査研究を進めます。』とあります。小田原城は耐震補強を含め、平成28年にリニューアルされておりますが、「木造」の天守は歴史ある小田原のシンボルとして一層映えるのではないのでしょうか。木造再建については、いつのと時代の小田原城になるのか、木造再建後に文化財となり得るのか等、課題はあるものの、研究調査を進め、どのような小田原城が市民にとって1番なのかを模索することが重要なのではないのでしょうか。また、木造での再建は、築城当時の技術を用いて行われるものと推察いたしますが、伝統的な建築技術の承継等、歴史・文化的にも有益なことではないのでしょうか。
54	1	質問	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 (仮称)文化によるまちづくり基本計画とはなんですか？
55	1	質問	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 小田原三の丸ホールの指定管理への移行とあるが、施設オープン当初から指定管理ではないのですか？
56	1	質問	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(3)世界とつながる機会の創出 外国籍住民の日本語教育が浸透し、日常生活での交流が生まれているとともに、学校における外国語教育もあいまって、海外に出て学びたい、活動したいと思う子どもが増えていることをどのように確認するのですか？
57	23	意見・提案	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(3)世界とつながる機会の創出 他の国の文化とか世界とつながる機会に触れという言葉が出てくるが、バブル時代に小田原で実施されたオーシャンクルーズのイメージと重なる。P.8に書いてあるように市税330億の現状でふさわしいものか考えてほしい。
58	1	質問	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 再生可能エネルギー導入量とは何に再生可能エネルギーを導入した量のことですか？
59	5	意見・提案	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 環境エネルギー対策として、核融合発電所による産業基盤、農業人口低減による農業の工業化(Amazon化)システムをデザインしたSDGs街づくり。
60	21	意見・提案	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 小水力発電と蓄電設備をセットで設置することで、豊富な水資源をエネルギーへ活用可能と考える。
61	23	意見・提案	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 マイクログリッドの取り組みこそもっと市民に知らせるべき。



総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
62	1	質問	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(2)地域循環共生圏の構築と森づくり 都市住民の定義を教えてください。
63	1	質問	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 小田原駅西口・東口の民間再開発事業やストリートの形成が進み、小田原駅周辺のにぎわいが創出されていることをどのように確認するのですか？
64	5	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり ストリートの活性化について、お堀端通り、御幸が浜、蒲鉾通りに抜ける通りに小型電気モビリティを使用して、不定期な動線としても良いのではないかと？民間事業の参入もありで。
65	13	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 市民会館の跡地利用として、まず更地にして、どういう風景が広がるかを確認した上で、以下を提案させていただきます。 <1学橋臨時駐車場の拡大>市民会館時代では保育園の発表会などがあるだけで、周辺の民間駐車場も含めて満車になる状況であった。この案では少なく見積もっても40台→90台に拡大できる。※景観と維持費用のため、基本的に平面駐車場を提案。 <2大手門(鐘つき堂)の整備>お濠側からも、国道からも見えず、ガイドさん無しで訪れる人はまばら。日清亭、21区事務所、司法書士事務所の移転を要請および支援。東電駐車場には建物を建てないよう要請。小田原城の大きさを感じる上で重要な門跡であり、向かいの裁判所と合わせしっかり整備すべき。 <3山車小屋の設置>鐘つき堂の隣に21区の山車倉庫があるが古く危険で、せっかくの城跡を台無しにしている。当の山車は、昭和1年製作と小田原市内でも古い部類であり、松原神社の神輿庫や23区の山車倉庫を参考に、祭典期間以外でも広く市民や観光客に見てもらえるようにすべき。鐘つき堂と相乗効果を生むような倉庫建設に補助をしてはどうか？<なお、小田原(城下町≠旧小田原町)の祭りは、神輿の担ぎ方と、屋台山車の形状+お囃子が日本全国でも特有のもの。>また、各自治会や神社が行える活動には限界があり、市政の支援が必要。これは観光収入で結果的に市政にも還元される。 <4道路・歩道の拡幅>小中学生の通学路ながら、市民会館時代は歩道部が狭い割に交通量が多く、登下校にも安全とはいえない状況であった。また、お堀端からの誤進入や、浜田耳鼻科の駐車場から出て左折してしまう逆走車も散見された。よって、市民会館跡地と本町臨時駐車場の北側一部を、車道と歩道に使用し、車道においては片側1車線の対面通行を可能とすべき。これにあたり、大聖ビル・高橋ビルには移転の要請と支援が必要。 以上、これらにより国道1号線の通過客(特に東京方面から下って来た車)は目の前に、天守閣・大手門・お濠+山車小屋が現れ、城下町を感じる事ができる。車を停めて観光したくなる客動線を構築でき、9月完成の三の丸ホールとの動線を相互に強固なものにする。観光政策が「点から線」へと変わってきてるが、さらにその上、「線から面」に格上げできる。 ∴このような観点から、市民会館の残置や、ハコモノ(新施設)の建設は、景観・観光・交通・費用などの面から不適切と考える。
66	13	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 箱根口の整備とその名称の優位性確保のため、国道1号線から「小田原城の門がある」と分かるような工夫をする。門は土台がある三の丸小側をまず再現し、対面側も整備を行う。これにあたりスポーツ会館を三の丸小のように城下町らしい建物、箱根口門とつながるようなデザインとした増改築をする。 現状ではトレーニング室や道場が非常に狭く、駐車するにも停めにくい。建築から年月も経っており、防災拠点の確保(感染症以前に、三の丸小だけでは足りない)という面からも、いずれにしろ増改築は必要である。また隣接の土産物店であるが、立地的に孤立しており不便であるため利用客が少ない。むしろ向かいの藤棚駐車場側に移転すれば、観光バスの客が立ち寄れる上に、空いたスペースを用いてスポーツ会館を拡大できる。現在の受付および観光ガイド待機所を2階建てなどにして統合したほうが気軽に立ち寄りやすい。
67	19	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 世界が憧れるまち”小田原”を目指すならエレベーター位あっても良いのでは？ 世界的に見ても歴史や文化、自然・食環境・交通アクセスに恵まれた小田原は、他都市が羨むほどの可能性があります。その可能性をいかに発揮し、世界中の人が行ってみたい、住んでみたいまち「世界が憧れるまち”小田原”」を目指します。と計画には書かれています。 この課題の中で、特に弱者や障害を持つ方、子育て世代にも注目していただきたいと思います。その意見の一つに、小田原駅前の地下街への導線の問題について申し上げます。 現在、地下街へ車椅子やベビーカーで行きたい場合は、ラスカの中にあるエレベーターで降りることが唯一の方法です。これは、本当に優しいまちづくりなのでしょう？ 先日、駅前商店会側に障害者の方の車が止まり、地下街の「みんなのトイレ」に行きたかったのですが、ラスカまで行くのに大変で周りの人たちが持ち上げ地下まで降ろしたことがあります。もしラスカと反対側に一か所でもエレベーターがあれば、どれほどの方が利用するか？どれだけ弱者に優しいか？は一目瞭然だと思います。大雨でも車椅子で駅に向かうのに手前でエレベーターに乗り地下街を通り、ラスカの3階まで上がれば傘もいりません。現状はロータリーまで傘をさして向かい、ラスカに入るか、大雄山線側のエレベーターを使うしか方法はないのです。他にも不便な所や施設もありますが、ぜひ小田原の駅前の顔として、「見えるまちづくり」「弱者に優しい施設づくり」をお願いしたいと思います。

総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

210913\_小田原市

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
68	8	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	御幸の浜の活性化として、湘南地域と比較して御幸の浜は波が立ちやすく、水深もあるので一般的な海水浴やSUPやカヌーなどでの利用は制約がある。海が一般的な海水浴に不向きという点から御幸の浜プールは補完的な用途があるが、その存在が十分に宣伝されていなかったと考えられる。また海では安全に「オープン・ウォーター・スイミング(OWS)」の体験や練習ができるような漁協などと協力したような体制があれば、「海水浴には不向き」ではなく、「OWSに適した」という評判を得ることができるかもしれない。また「ペブルビーチ」も特徴となりうるし、個人的には、波に浮かんで海中で聞く、引き波の鳴らす砂利の音も御幸の浜のユニークな魅力と考えている。
69	8	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	御幸の浜については夏季のみ稼働しているプール施設を改善し、民営化や公設民営によって通年利用可能な施設(トイレ、シャワー、カフェレストランなど)を付帯させることにより、夏に限らず、いずれの季節にも快適に海からの日の出、真鶴半島の景色、潮騒の魅力を楽しめる場所とすることが可能と考える。
70	8	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	交通の妨げとなる駐停車を減らしたり、カーシェアリング拠点としたり、道路事情の劣る近隣において自家用、来客用、配達用に共同利用できるような駐車場については、市内に豊富に存在する寺社所有の檀信徒専用駐車場を活用できればと思う。賃貸事業を行うと寺社側に税法上の問題が生じるが、それを迂回、軽減できる方法を公共目的のため、あるいは民間駐車場運営会社などと策定できればよいと思う。
71	13	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	中心的商業施設であるコロナやダイナシティが駅から遠い。施設の無料バスなどもあるが、やはり駅から遠く、車を持たない近隣以外の市民にとっては行きづらい場所で、路線バスも経路が複雑であり、曜日によっては混雑している。また、この近隣に住んでいる住民は、「土日は車を出せない事がある」(新幹線ガード付近住民の話)との事。
72	18	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	みんなが集まれるビーチパークの整備
73	18	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	酒匂海岸は利用客が大変多いが、トイレ、シャワー、津波避難塔など他の海にあるインフラが全く無いので整備
74	18	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	子供も楽しめる浅瀬のビーチが欲しい
75	24	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	酒匂海岸は利用客が大変多いが、トイレシャワーや津波避難塔など他の海にあるインフラが全く無い。整備するべき。また、釣りの方やバーベキューをするひとが多く、駐車場が狭く、止まらない事が多いので、あと3倍くらい広くしていただきたい。そうすることで、酒匂周辺のお店も儲かるようになるし、人の流入が増え良いと思う。ただし、ゴミなどのルールを徹底しなければならないと感じる。
76	24	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	御幸の浜を、安定してサーフィンが可能な人工リーフを設置し、移住定住交流人口増加につなげるべき。藤沢市の海のようにすれば、移住者が増え、海をベースに生活する人が増えおしゃれな、海の街をアピールすることができるだろうし、そこで新しいカルチャーが生まれ、小田原市にとってとても良い方向に進むと思います。
77	24	意見・提案	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり (2)地域特性を生かしたまちづくり	御幸の浜周辺に駐車場が無いので、ビーチパークと複合した駐車場を整備するべき。
78	1	質問	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	人口の社会増社会減の問題は小田原市に限ったことではなく他の自治体においても同様であり、他自治体においても社会増のために訴求と環境整備の移住定住促進策を展開してくると思いますが、社会増につながる小田原としての強みはどのようなものがありますか？
79	5	意見・提案	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	人口増対策に、ロボット化、海外からの実習生の活用を。また、子育て等支援金の充実、給付金の配布、早川、根府川等沿岸地域に小規模工業輸出入港湾、の増設、その他、リモートワークでのプログラミング化拠点の設立
80	27	意見・提案	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	人口増を明確な目標に掲げた点については大いに評価できる。今後の具体的な施策について期待するところである。



総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
81	3	意見・提案	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 1 災害被害軽減の推進	小田原の海岸は、かつては波打ち際まで100m～200mある砂浜でした。子供達は、凧あげや野球に興じました。御幸ヶ浜は、夏ともなればビーチパラソルが並ぶ海水浴場として賑わい、木下大サーカスのテントを張った興業が行われました。多くの小田原市民にとって、原体験の一部でしたが、今やその姿はなく、石ころだらけの狭い海岸になってしまいました。 砂浜が豊かであることは、防災上も重要です。大きな波が来ても砂浜で吸収されて、滅多に堤防まで来ることはありません。今は、台風が波が西湘バイパスをすぐに崩壊させるようになりまし。酒匂川の河床がこの40年の間に急速に上がって、河川断面が相当減少しています。水を運ぶ川のキャパシティが減って、大雨が降るとあふれ出る危険が現実性を増しています。飯泉の取水堰は、今や水をせき止めているのではなく砂をせき止めてしまい、本来海に流れていった砂が貯まりに貯まって、栢山よりも上流に至る河川断面を減少させています。 砂浜の後退と河床の上昇は、砂を海に流さない状態を作ってしまったことが原因であることは明白です。ダンプカーでわずかな量の砂を海に運んでいます。自然に流れるようにする根本的な対策が打たれないままです。 飯泉の取水堰を、取水はするが、砂はすべて海に流れるように大改良することは技術的には可能だと思います。また、既に溜まってしまった膨大な量の砂を24時間継続的に海に運ぶ設備も可能だと思います。 このままの状態で放置しておくと、5年以内に、酒匂川の洪水と海岸の浸食による被害が頻発するでしょう。 かつての海岸や河床を原体験として持つのは高齢者だけになり、大半の市民も行政もこの問題に現実的なイメージを持って気づいていないことが恐ろしいのです。総合計画の中の防災部分だけでなく、都市景観、教育、観光商業にも横断的に関わる重要問題として取り上げるべきだと思います。
82	13	意見・提案	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 1 災害被害軽減の推進	現在、県内河川において堆積土砂の除去が進められているが、単に土砂を取り去るだけでなく、川床の掘り下げを進めれば、水路としての活用も可能になり、氾濫危険も減少するうえ、<堆積砂の効率よい排出により海岸養浜>につながる。川砂の利用価値はあるが、溜まった分を全て建築用に回せば、文字通り国土の減少になる。飯泉取水堰の吐出量もこれを踏まえて設定して欲しい。御幸の浜の場合、自分が小学生だった35年ほど前は、今の海岸線から20mは沖合いだったのではないだろうか？供給される砂が無ければ減るのは当然で、いくらTバー等を作っても防波堤としか機能しない。永続的で自然な砂の供給が解決策と考える。
83	1	質問	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 2 災害時即応体制の強化	現在設置されているマンホールトイレの場所と今後追加を考えている場所を教えてください。
84	2	意見・提案	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 2 災害時即応体制の強化	水に関して、上下水道と防災の枠組みの中に記述がありますが、地下水の重要性についての視座が不足しているのではないのでしょうか。 災害時の給水について、給水車で供給にまずは眼が行っています。小田原には、浅井戸も自噴井戸もまだ多数存在します。市内の井戸をその普段の使用の有無も含めて調査し(勿論飲料に適するかどうかの検査も伴うわけですが)、災害時に活用できる体制を敷くことを課題にすべきでしょう。 特に災害時には、十分な飲料用、洗濯用、洗浄用の水が最も重要な存在になります。給水車で供給には限界があります。小田原は、地下水が豊富である利点を活かした防災時の水対策を考えるべきではないでしょうか。 森里川海の連環を考える上で、小田原の地下水脈の研究が待たれるところです。 表層を流れる川の水をはるかに上回る量の真水が、我々の眼に見えない地下から海に注がれています。海岸に近い井戸水が塩辛くないのも、地下水の圧力が海の圧力より高いからです。 膨大な地下水が、どのように流れているのか、学術的に解明されきっていませんが、今後、小田原の自然環境のあり方を考える上で、必要になる知見です。都市デザインにおいても、地下水のことを把握した上での開発を考えていくべきとも。
85	1	質問	41	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 4 危機管理体制の整備	関係機関4件とはどこですか？
86	21	意見・提案	41	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 4 危機管理体制の整備	他県での災害発生時にあらかじめ決めた避難先として空き家を活用することを検討してはどうか。
87	1	質問	45	実行計画	施策・詳細施策	施策 10 子ども・子育て支援 詳細施策 4 青少年育成の推進	非日常型体験学習とはどのようなものですか？
88	23	意見・提案	46	実行計画	施策・詳細施策	施策 11 教育 詳細施策 1 教育活動の推進	ステップアップ教育は埼玉県の成果も読ませていただいたが、結論的には、一人一人の児童の伸びを見ていくとなっているものの、教師の力量の底上げが目的でそのために子供たちへ最大の負荷を与えるものになっている。福井県の教育委員会の取り組み(一人一人の個性を伸ばす)こそ、本当に子供たちの自己肯定感を高めるものだと思う。ぜひ授業の運び方、子供たちの生き生きした姿を見てほしい。ステップアップはやめるべき
89	21	意見・提案	50	実行計画	施策・詳細施策	施策 13 商業・地場産業 詳細施策 2 地場産業の振興	伝統工芸品の小田原漆器は丈夫な木製品であるため、脱プラスチックにも貢献できるものとする。

総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
90	20	意見・提案	50	実行計画	施策・詳細施策	施策 13 商業・地場産業 詳細施策 3 中心市街地のにぎわいづくり	小田原駅地下でダンス(ブレイクダンス)の練習orイベントを行いたいです。
91	1	意見・提案	53	実行計画	施策・詳細施策	施策 15 水産業 詳細施策 1 漁港・漁場の整備	小田原漁港だけでなく、石橋、江之浦、米神漁港の水揚げ量も目標値にしてはどうか？
92	13	意見・提案	53	実行計画	施策・詳細施策	施策 15 水産業 詳細施策 1 漁港・漁場の整備	平時の水上交通路としての復活だけでなく、防災の側面からも災害および大規模渋滞時の救援・救急活動のためにも船舶が出入りできるよう、海底の岩を除去したり、棧橋および突堤を修復し、米神港など、廃港や旧船着場の整備をしておくべき。現状、早川港以外に大型船が泊まれる港がない。次回、R135号や西湘BPが災害で通行止めになった際に、海からのアクセスができるようにする事。せめて海上自衛隊の輸送艇が石橋港や米神港などに接岸できるようにすべき。
93	13	意見・提案	54	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 3 観光コンテンツの充実	「北條五代を大河ドラマに」という誘致を行っています。懸念が2つあります。一つ目は、これは一時的なカンフル剤として機能する、一つの”目標”であり、母体となる街づくりが完成していない状態で実現しても、はずみ車は回りません。現段階では継続的な観光客誘致、知名度向上、人口増加には繋がりません。二つ目は、感覚で申し訳ないのですが、何か「ドラマ化の実現がゴール」のような運動(手段の目的化)になっている気がします。
94	17	意見・提案	54	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 3 観光コンテンツの充実	小田原城の周辺エリアをフリーWi-Fiとして、様々な情報が取れたり観光拠点のポイント獲得のイベントなどを行ったり、外国人向けの多言語での案内が容易にできるなど、世界が憧れる町にしてほしい。
95	8	意見・提案	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 3 観光コンテンツの充実	東京、横浜など都市部、そして鎌倉、葉山、江ノ島など利便性の高い観光地での周遊と比較して、小田原での観光は自然環境資源の点で勝ると思われるが便利施設、飲食や購買、休憩やトイレの機会に乏しく、かといって全く自然なままの登山のような環境とも異なり、事前の準備や情報収集の度合いによっては不便な、あるいは目的が「歴史のある城下町」なのか「里山、海、川など豊かな自然」なのか明確でない、中途半端な観光地と評価されかねない。
96	8	意見・提案	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	地域の特性である海と山との近接、具体的には箱根、特に湯本地区との近接性を生かすのであれば、夏休み期間に湯本(旅館組合巡回バス)-御幸の浜親水施設(プール)間でシャトル運行などすれば夏休みの家族旅行客の新規需要を掘り起こすこともできるのではないかと、また途中の早川取水口か地球博物館あたりに親水施設があれば海、川、山とを連携させた体験を提供できるのではないかと考える。
97	8	意見・提案	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	小田原駅周辺や小田原城内、蒲鉾店などの経営する観光施設などでの利便性が高いが、小田原市推奨のウォーキングコースのほとんどは休憩や給水、トイレを快適に済ます機会がないものとなっている。行政の要請で経路にコンビニエンスストアなどを配置できるのであれば良いが、商業的には不可と思われる。したがって公設の休憩所を設置し、有料であっても快適なトイレ、持ち帰りの負担を解決できる有料ゴミ回収施設、売店や自販機、防犯通報・救急設備などを備えることが適当ではないかと考える。課金方法としてはSuicaやPasmoなど電子マネーに限定すれば管理コストは抑えられると考える。ゴミ回収については観光客向けの有料ゴミ袋をコンビニエンスストアやお弁当店などで販売する方法でも良いと思う。ついでにゴミ拾いなどしてもらい、自分の出したものと一緒に、家に持ち帰らずに済み、正当な手続きで処分できることには価値があると思う。新大久保や鎌倉小町通りなどで食べ歩き後のポイ捨てが問題となっているのは広く知られている。また海洋プラスチック汚染も大きな問題となっている。それらに対する先進的な回答を模索することに意義がある。 快適性、利便性に対する有料化を徹底し、かつその対価を原資に快適性、利便性の向上と違反行為の監視を行えば、良質な観光における行動が誘導され、観光地としての高い価値が担保されるのではないかと考える。
98	8	意見・提案	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	観光客向けのウォーキングコースは地域住民のための日常的なウォーキング、ジョギングコースとなりうる。そのためにも快適性、利便性の向上は求められていると考える。里山や河岸などの過度でない人流の増加は防犯や不法投棄防止など環境維持の効果も期待できる。
99	8	意見・提案	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	小田原駅から徒歩圏、小田原城、かまぼこ通りと隣接した「御幸の浜」はまた小田原漁港、箱根板橋へも徒歩圏であり、(総構えなどの山歩きの散策に対して)平坦な散策路の中継点となりうるポテンシャルの高い地域資産と考える。また小田原駅をスタートゴールとするルートだけでなく早川駅、箱根板橋駅などを利用して熱海、箱根方面へ向かうルート、行きは歩きでも帰りは電車で小田原駅へ戻るルートに集客できれば早川駅、箱根板橋駅周辺の活性化にもつながる。
100	8	意見・提案	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	小田原湯本間や小田原真鶴間はバイパス的開発の影響により「沿道の賑わい」が失われたように感じる。沿道の賑わいの再興は困難かもしれないが、ウォーキング客や鉄道利用客により途中駅の利用者が増えれば駅周辺に小規模商業施設の需要が生じるかもしれない。根府川駅からの眺望、長興山お参りなど鉄道を利用してのスポット観光もあまり健脚でない人向けに宣伝する価値がある。
101	13	意見・提案	56	実行計画	施策・詳細施策	施策 17 歴史資産 詳細施策 1 小田原城などの整備・活用	お濠について、数年前にTV番組で水を抜いたが、雨天であり、放置期間も少ないため全く意味がなく、生物調査・盗難等の遺失物調査以外は、むしろ悪臭が発生しただけだったのではないだろうか。 しかしながら掻い掘り自体は遺跡調査や水質改善の観点からも必要であると考えられるため、今度は市として、区画を分け段階的にしっかり行うべき。きちんと天日に晒した本来の掻い掘りを実施すれば、水質浄化もでき、入念に遺跡調査も行える。済んだ箇所から部分的に掘り下げ、地下タンク等も用いて、増水時にお堀で一時的に貯水できるような機能を持たせる。以前より幾分良くなったが、小田原駅東口お城通りおよび学橋前は大雨時に冠水する事がある。



総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

210913\_小田原市

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
102	13	意見・提案	56	実行計画	施策・詳細施策	施策 17 歴史資産 詳細施策 1 小田原城などの整備・活用	手漕ぎボート乗り場を2箇所作り、時間制で貸出を行い、どちらに返却しても良い事にすれば、遊興としてだけでなく、実用性を持たせて運営できる。例:藤棚側で借りて、幼稚園側で返す。
103	13	意見・提案	56	実行計画	施策・詳細施策	施策 17 歴史資産 詳細施策 1 小田原城などの整備・活用	お濠の水質が良くなればホタルの再来も期待でき、飼育も可能となる。三の丸小の横を流れる水路や菖蒲池などで飼育すれば、小田原城の周辺に定着する個体も出てくると思われ、それだけで新たな観光要素が生まれる。 ※城内小時代に数年間、お濠端幼稚園側の崖でホタルを飼育していた。 ※2010年ころ、本町の実家の壁にホタルがいた。
104	1	質問	58	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 1 文化・芸術の振興	(仮称)文化によるまちづくり条例の基本計画とは、24ページの(仮称)文化によるまちづくり基本計画とは別のものですか？
105	8	意見・提案	59	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 4 生涯スポーツの振興	御幸の浜プールを親水施設として建替え、改装するには公費負担を抑えた民間の資金、アイデアを活用したプロポーザルを募集することが適当と考える。近隣の事例として大磯の照が崎プール、大磯ロングビーチの集客・利用状況も参考とできるかもしれない。
106	8	意見・提案	59	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 4 生涯スポーツの振興	御幸の浜プール、特に50メートル競泳プールは海のある小田原の象徴として継続して欲しい。そのためには民間との連携、通年施設化、多目的施設化が合理的と考える。
107	1	質問	60	実行計画	施策・詳細施策	施策 19 脱炭素 詳細施策 1 温暖化対策の推進	二酸化炭素排出量はどのように算出するのですか？
108	1	質問	60	実行計画	施策・詳細施策	施策 19 脱炭素 詳細施策 2 エネルギーの地域自給の推進	再生可能エネルギー導入量の千kwとは毎時の発電量のことでですか？
109	1	質問	62	実行計画	施策・詳細施策	施策 21 自然共生・環境保全 詳細施策 2 森林・里山の再生	森林整備面積とは維持管理していく森林の面積のことですか？
110	2	意見・提案	62	実行計画	施策・詳細施策	施策 21 自然共生・環境保全 詳細施策 1 生態系の維持保全	【再掲】水に関して、上下水道と防災の枠組みの中に記述がありますが、地下水の重要性についての視座が不足しているのではないのでしょうか。 災害時の給水について、給水車で供給にまずは眼が行っています。小田原には、浅井戸も自噴井戸もまだ多数存在します。市内の井戸をその普段の使用の有無も含めて調査し(勿論飲料に適するかどうかの検査も併うわけですが)、災害時に活用できる体制を敷くことを課題にすべきでしょう。 特に災害時には、十分な飲料用、洗濯用、洗浄用の水が最も重要な存在になります。給水車で供給には限界があります。小田原は、地下水が豊富である利点を活かした防災時の水対策を考えるべきではないのでしょうか。 森里川海の連環を考える上で、小田原の地下水脈の研究が待たれるところです。 表層を流れる川の水をはるかに上回る量の真水が、我々の眼に見えない地下から海に注がれています。海岸に近い井戸水が塩辛いのも、地下水の圧力が海の圧力より高いからです。 膨大な地下水が、どのように流れているのか、学術的に解明されきっていませんが、今後、小田原の自然環境のあり方を考える上で、必要になる知見です。都市デザインにおいても、地下水のことを把握した上での開発を考えていくべきとも。
111	8	意見・提案	64	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備 詳細施策 1 計画的な土地利用の促進	究極的には全体的な土地流動化と地区計画により碁盤の目状の住宅地を創造できれば地域の価値が向上することとなる。その場合、旧来の法令にとらわれず、市街地、住宅地として価値向上を目指し、最低限の幅員は5mを基準とすべきと考える。
112	14	意見・提案	64	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備 詳細施策 2 地域資産を活用したまちづくりの推進	UMECOによって、お城通りから天守閣が見えなくなった。JR改札口のパノラマウィンドーから見えていた天守閣がミナカによって縦真っ二つに割られてしまった。駅前周辺に建設されるビルに対する規制は高さ制限が主で、小田原の象徴である天守閣が、そのビルによって人の目線から見えなくなることは、設計段階で確認できたはず。しかし、法制的な基準がないので、ビューの確保はほとんど無視されている。 これからの都市デザインにおける景観規制には、高さ規制、面積規制、色彩規制だけではなく、「ビュー」という概念を重視していかなければならないと思う。 市民の心のよりどころとなるもの、市のシンボルであるものは、そのビューを遮らないように開発案件が管理される仕組みをつくってほしい。
113	1	質問	66	実行計画	施策・詳細施策	施策 23 住環境の形成 詳細施策 1 住宅ストック活用の促進	住宅ストックとは小田原市営住宅ストック総合活用計画に定める住宅ストックのことですか？

総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
114	8	意見・提案	66	実行計画	施策・詳細施策	施策 23 住環境の形成	詳細施策 1 住宅ストック活用の促進 住宅、宅地の流動化を促すためには固定資産税通知と連動させて所有者、名義人に対して資産利用状況・活用意思に関するアンケートを大規模に、あるいは地域網羅的に実施し、その結果を受けて都市計画につなげる形の、公的な誘導による相談窓口の設置や検討集会の開催などの施策を打つことが適当と考える。特に小田原駅周辺(半径2キロ程度)については、栄町、本町地区を中心に集合住宅開発が民間によって進んでいる反面、戸建て住宅適地で一種低層住居専用であってしかるべき箱根口以西海側や城山、荻窪においては流動性がほぼ枯渇しており、かつ不利な接道条件によって良質な住居や宅地が供給されていないように思われる。これらの地域では地区計画を促すような公的なサポートがあっても良いと考える。 幸か不幸か小田原では大手不動産開発業者の活動が盛んでないため、地元宅建業者や信金などでいくつかのコンソーシアムを形成すれば、それらに対し公的誘導による相談や検討の成果をいかした「地上げ」的業務を募集して委託することもできるのではないだろうか。つるおかランド・バンク事業などが参考となるかもしれない。
115	8	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築 観光の観点からは箱根周遊券、箱根旅助けのような狭い枠にとらわれることなく御殿場線に囲まれたすべての地域を周遊できるような割安なフリーパスがあれば「葉山女子旅」的な人気を博すかもしれない。三浦半島はほぼ京急独占なのに対し富士山周囲は私鉄ばかりかJRまでけん制しあう状況にあるのは地域にとっての不幸以外の何物でもないと思う。少なくとも共通して使える電子乗車券の導入を行政として促すべきと考える。日常的な制約であるばかりでなく、緊急に迂回して移動することが必要な場合の重大なボトルネックともなりうる。
116	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築 早川港から一夜城までロープウェイを。観光地同士を結ぶ移動手段として、利便性もさることながら、その乗車行為・展望自体が観光となり、パーク&ライド制度を併用すれば、さらに国道135号など周辺エリアの慢性的渋滞の解消・緩和にも貢献できる。また、「伊豆湘南道路」の実現により、利用者数はさらに安定的に確保できるため、料金設定にも自由度が生まれ採算性も高い。このエリアの観光地間を移動するマイカーも減らせるため、今まではトコだけだった観光客が車を停めて一夜城にも訪問可能となる。 (補足)極端な例ですが、群馬の家族が山梨に旅行したとします。帰りに地球博物館に訪問し、展示物の影響もあって、海を見たことのない子ども達が、「海を見たい!」と言い出しました。ところが現状では、ここから大渋滞するR135や小田原漁港周辺に行く事は、各施設の営業時間外である真夜中と早朝以外は極めて困難です。せいぜい、渋滞に遭いながらR134西湘バイパスから反対車線側の海が見えたら良いかな?といった感じでしょう。もし、提案する索道があれば、地球博物館の後に車で一夜城まで足を伸ばし、ロープウェイで眼下に広がる海を見ながら漁港に降りれたらどうですか?子ども達のキラキラ光る目が想像できると思います。
117	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築 陸上競技場、いこいの森・わんぱくらんど、フラワーガーデン・すわのはら公園への交通手段の整備。丘陵地であるためロープウェイ等であれば景観も楽しめる上に、森林を切り拓いて道路を新設するより経済的で、環境への悪影響も少ない。小田原駅から競技場、いこいの森、フラワーガーデンを結び、大雄山線の飯田岡駅などに接続できれば尚良い。競技場への連絡だけでも、慰霊塔小峰公園や小田原城総構えの最上部である御鐘台大堀切へのアクセスも上がる。
118	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築 『市立病院への交通手段として、頻りに氾濫する山王川・久野川を深くし、水路として活用する。駅から遠い、万年や山王地区、町田方面から市役所・市立病院へのアクセスが向上し、既存の兎河原バス基地に接続すれば交通手段の複合化になる。
119	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築 小田急線足柄駅の西側に改札口または連絡通路と、送迎用駐車スペースを設置し、同線沿線住民の小田原市立病院への通院利便を高めるべき。
120	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築 小田急線足柄駅周辺の列車置場の沿道は、犬のフンが散乱しているだけで、全く無駄なスペースになっている。これなら線路が残っている廃線跡の方が趣や話題性があった。緑の小径を利用した効率の良い連絡通路があると良い。
121	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築 栢山～蛸田または足柄間を高架化・地下化してもらうよう、小田急電鉄に打診・相談すべき。 栢山駅交差点の慢性的渋滞も問題であり、さらに、足柄駅～小田原駅間においても、列車が踏み切りを塞いだ状態で待機することが頻発している。朝夕は自家用車だけでなく、歩行者や自転車、バスなども交通渋滞に巻き込まれている。ここは大雄山線とも並行している線路・踏み切りに挟まれたエリアであり、早急に解決を図るべき事案。この早期解決には、地下化・高架化以外に方法はないと思われる。
122	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築 上府中公園・小田原球場と鉄道駅と接続。 大きな大会やイベントがあると、子供を連れて遊びに行ってもその関係者の車で止められない事が何度かあった。御殿場線からの接続がもっと容易であれば、カミイチなどでお酒を楽しむ事もでき、マイカー利用者はもう少し減るのではないだろうか。高架の歩道があるだけでもかなり便利だが、球場～下曾我駅～(丘陵地帯)～大井方面(未病センター等)や二宮方面をロープウェイ等で繋げば、足柄平野全体の活性化に繋がる。梅まつりの時の交通渋滞も酷い。細街路に入り込んで動けなくなる観光客の車も目立つ。つまり集客力はあるのに、キャパがない。



総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容	
123	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	最近ではLRTが話題を呼んでいるが、路線バスやコミュニティバスも含め、陸上路面交通はどうしても渋滞が発生し、場合によっては悪化することさえある。さらに、あるバス会社では路線を減らすとの話もある。マイカーや免許がない世帯の利便向上、高齢者の免許返納促進の面からも新たな交通手段は必要である。 そこでモノレールやロープウェイ、水路であれば、用地取得や設備費用は鉄道に比べて節約でき、話題性や港町・城下町として観光要素もあるうえ、手段の多様化は災害やテロ・事故等のリスクの分散にも繋がる。 また、海岸線は地理的要因もあり、どうしても慢性的な渋滞が発生するが、単に拡幅・複線化で解消しない問題もある。R135等を例に見て解るように高潮・津波、土砂崩れ等が発生すれば寸断され、もし並走路があっても、被災道路の交通量を補う能力はなく、渋滞が渋滞を招く悪循環となるため、代替手段としても<水路の活用>は待たないで行われるべき。
124	26	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	路線バスの問題について、行政案の「道路・交通」の項目では、詳細施策として「公共交通ネットワークの構築」とあり、「誰もが快適に移動できる公共交通環境の改善」を進めるとしています。しかし、建設経済常任委員会の資料では、路線バスの退出意向の申出(3路線)について、「小田原駅～栢山駅」「小田原駅～真鶴駅～湯河原駅」の2路線については「退出もやむを得ない」としています。行政案に書かれていることとの違いに驚きます。利用している住民の意向調査をするなどして、何らかの方法で交通手段を検討すべきではないかと思えます。
125	6	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	必要以上のハードは初期費用だけではなく維持費が発生するため、市の財政圧迫にもつながりかねません。例えば、74号線の警察署前の通りですが、一時的に工事がありました。そもそも工事自体の必要性も実施前に吟味すべきですが、工事の影響で2021年7月8月上旬に、74号線の城山幼稚園前から警察署前あたりまで、それまで発生していなかった渋滞が毎日発生しておりました。原因は信号のタイミングが変わった事のようなものでした。8月中旬には改善されて、渋滞は解消されました。今後もイオンモールが出来て交通量が多くなる事が見込まれます。信号のタイミングをAIで管理するなど含めて最適化すれば、インフラ整備は最小限に抑えられると考えます。逆にインフラ整備されても、信号のタイミング一つで渋滞が発生しますので、そのバランスや費用対効果はしっかりと確認して頂きたいです。
126	8	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	湘南伊豆道路については観光周遊道路の観点は2次的、3次的なものとして位置づけ、第1義的には地域生活道路、防災道路として明確に位置付けるべきと考える。
127	13	意見・提案	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	小田原城から3km離れた風祭駅近くに西湘BP(箱根新道入口)の「箱根IC」があるが、「藤棚の箱根IC」と「風祭の箱根IC」を混同される事がある。これに関して2017年ころに、「IC名を改称すべきである。同ICの名称は、この交差点名で、同名駅も近く、日本で唯一の地名であることから「風祭」に変更すべき。それができないなら小田原城側を「藤棚入口」に変更すべき」との提案および経緯説明を求める意見を国土交通省、ネクスコ中日本、小田原市建設政策課にしており、各回答は下記であった。 国交省:「ネクスコ(当時JH)の申請を受理」 ネクスコ:「IC開通時に地域の自治体等の合意が図られたうえでの名称決定」 市建設課:「当時の経緯の記録がないが、小田原の人間としてここが箱根ICと言う名称は不自然で、全くご指摘の通り。こちらとしても変更したい。名称も『風祭』が良いと思う。藤棚の方の『箱根IC』は変更できない。変えるならICの方。しかし自治体の都合での変更は、自治体が費用を持つことになる。調査したところ、内訳は不明だが、その金額は長野県内の例で2億円。残念ながら対応は不可能。」 このような回答であるが、本件は「小田原市の都合」などではなく、明らかに一部の人間の感覚の違いにより、多くの人間が困惑している状態であり、市だけでなく国や県にも提言すべき事案であるとする。もしくはクラウドファンディングや、鈴廣かまぼこさんを始めた市内外の企業にご寄付をお願いすることはできないだろうか？ 私も藤棚で観光客に二度ほど説明した事があり、また子供の頃に父と相模原の母方の伯父との会話で「255からお城の方の箱根ICです、風祭まで行かないで…」と説明していたのを今でも覚えている。皮肉なことに新型コロナの影響で、東京オリンピックの外国人を含めた観光客の増大、同ICの利用による混乱が起きなかったが、不幸中の幸いと捉え、今の内に解決していく必要がある。
128	13	意見・提案	68	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	早川付近の渋滞緩和のため、早急に西湘バイパス早川出口を右折可能にすべき。ここが右折できないため、混雑する港の周辺に、行きたくない車(小田原市街地や山北、箱根方面に行きたい車)までもが流入する。そしてターンパイク等に繋がる早川交差点も無意味な右折禁止(警察でも理由が分からないとの事)であるため、その手前の見通しの悪い坂のカーブでUターンしたり、住宅地で切り返す車がいるため、事故も誘発する。 これらは本当に無駄な渋滞を発生させている。この2箇所の右折禁止は早急に排除すべき。 なお、警察ではICの右折禁止は「国道への接続は基本的に二車線であるべき」とのを理由に挙げているが、物理的にも左折車と右折車が並ぶだけのスペースは充分にあり、そもそも信号があるので合流先の交通は赤で停止しており、何ら危険性はない。 私はこの地域の住民であるが、休日はR1から旧早川橋への道路(御厩戸小路)やR135が渋滞し、時間帯によっては家に帰れない事がある。これだけの観光客が来てるのにさげすみもったいないし、渋滞や警察の取り締まりで不快な思いをさせるうえに、住民まで迷惑をしている。

総合計画行政案に対する市民意見募集(パブリックコメント)暫定一覧表

No.	意見者No.	種別	該当ページ	該当箇所			意見内容
129	8	意見・提案	68	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 3 生活道路の整備と維持管理	小田原駅周辺については歴史のある市街地であり、自動車の通行を前提とした快適な道路は一部幹線に限られている。狭い道路の改善としては以下の2つの策が検討できると思う。第1に過去においても、また将来的に変更の行われない寺社所有地に対して道路拡幅やすれ違い待機所の設置を促すこと。これについては自社側から積極的に行動する誘因は乏しいと思われるのでセットバックなど境界構築物更新費用の補助や道路のため提供された土地の代替地への交換などに予算措置が必要となろう。第2は一方通行の活用となる。狭いであっても交通量が少なければ地理をよく知る地元住民にとってそれほど不便を感じないところ、訪問者や新住民にとっては運転しづらい、貧しいインフラに感じられてしまう。一方通行に、より迂回であっても対向車を気にしなくとも済むようになればより良質な道路環境と認識されると考える。実際、都市部では一方通行が積極的に導入されているように思う。
130	13	意見・提案	68	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 3 生活道路の整備と維持管理	小田原アリーナ～富水駅・螢田駅が遠い！+螢田駅沿道が危険。全国大会が行われるにもかかわらず、駅から遠い。重い・多い荷物を持って移動する選手や関係者が多く、炎天下や大雨の中を歩いていることもあり、試合や練習前に無駄な負担をさせている。これではパフォーマンスも発揮できないし、間接的にマイカー来館を促しているのと同じ。そればかりか、螢田駅の沿道は歩道部が非常に狭く交通量が多いので市内で最も危険な道路。そこで、ヤオマサ・TSUTAYA前から大橋までの道路(歩道部や中央分離帯が広い)に、屋根付き高架道を作り、動く歩道や自転車道、モノレールなどを作ってはどうか？交通量や天候に左右されることなく、テニス場やアリーナ駐車場へ横断でき、大雨や酒匂川増水時などに避難場所・避難路としても使用できる。(現状では洪水や越水時に、付近の住民が東富水小まで避難するのは困難)(2018年8月6日、大雨で冠水)
131	26	意見・提案	69	実行計画	施策・詳細施策	施策 25 上下水道 詳細施策 3 上下水道事業の健全経営	下水道の問題について、建設経済常任委員会に出された資料では、「公民連携による下水道管路の維持管理手法について検討を行っている」とあり、今年4月には「公募による事業者説明会及びアンケート形式によるサウンディング調査を実施し、事業への参画の意向などを確認した」とあります。水道の民営化については、各国ですでに失敗し、公営に戻すところもあるくらいです。今回の取組が水道の民営化につながらないようにすべきだと思います。
132	1	質問	70	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営 詳細施策 2 効率的な行財政運営	行財政改革による財政効果額の目標はいくらですか？金額がわからないと目標値の100%について評価できません。
133	6	意見・提案	70	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営 詳細施策 2 効率的な行財政運営	ハード面を充実させる前に、既存のサービスやハードを最大限活用できていない、と言う可能性から探して下さい。そのためにデジタルを活用できる部分は多くあると考えます。
134	8	意見・提案	70	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営 詳細施策 2 効率的な行財政運営	競輪場の活用(あるいは廃止)については様々な規則や会計上の問題などあると思うが、より理解された、開かれた施設とするためスポーツイベントへの利用なども検討すべきと考える。ギャンブル機能については設備も顧客もオンラインや場外へ移行することが比較的容易と思われるので、スポーツとして観戦する施設を主体とし、また、例えばスケートボード場を併設するなど他のスポーツの要素も加えれば迷惑施設からの脱却も図れるのではないかと。また周辺の駐車場の稼働状況がそれほど高くないのであれば、例えば城山陸上競技場と連携した雨天トレーニング施設としたり、ウォーキングコース上の休憩施設としたりすることが検討できるのではないかと。
135	1	意見・提案	70	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営 詳細施策 3 公共施設の最適化	緊急的な維持修繕工事が必要な市有建築物は2%残すことなくすぐにでも直したほうがいいのか？
136	1	意見・提案	71	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営 詳細施策 4 人材の確保・育成・活用	女性職員に限らず全職員の昇任希望率を目標値とすべき。
137	8	意見・提案	71	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営 詳細施策 5 広域連携の推進	国鉄民営化以前は県境をまたいだ沼津、三島、熱海と小田原との商業、教育的な生活圏の重なりがより大きかったように思う。県境も、分割されたJR各社も地理的、歴史的に絶対的な合理性を持つものではないので検討の価値があると思う。
138	1	意見・提案	72	実行計画	施策・詳細施策	施策 ② 公民連携・若者女性活躍 詳細施策 3 公民連携によるSDGsの推進	他の目標では〇〇人だが、SDGsパートナー登録者数だけ〇〇者となっている。
139	1	質問	73	実行計画	施策・詳細施策	施策 ③ デジタルまちづくり 詳細施策 3 スーパーシティの実現	データ連携取扱サービスとはなんですか？